

ひめじ おれんち” プロジェクト



進めよう！深めよう！わがまちの認知症ケア！



ひめじ おれんち”
(ひめじ認知症啓発協議会)

2018プロジェクト概要
(活動記録)

<http://h-294.com/orange/>



ひめじ おれんち` (ひめじ認知症啓発協議会) は、

- (1) 認知症の啓発に関する協議
- (2) 認知症に関する啓発資料の作成、勉強会の開催
- (3) 認知症の啓発イベントの企画
- (4) 認知症の啓発に関するネットワークづくり

を行っています。

【活動の目的】

わが国は、類をみない「超高齢化社会」に突入しました。それにともない、「認知症」を発症する方が、これまで以上に確実に増加します。つまり、「認知症」は、私たちにとって大変身近な病気であり、重大な生活課題にもなってきているのです。

こうしたことから、「認知症」について正しく理解し、差別や偏見をなくして「認知症」の早期発見・早期診断につなげていくとともに「認知症」のご本人やそのご家族が安心してこれまでと同様に自宅で、そして地域で暮らし続けることができるような支援を行えるようになることが、とても重要になっています。

姫路市においても、地域の皆さんが、「認知症」になられたご本人やそのご家族のために、自分のできる範囲で支援ができる応援者(サポーター)になっていただくための「認知症サポーター養成講座」等、様々な啓発活動が推進されています。こうした活動が、より身近な生活に定着するためには、行政による働きかけだけでなく、当事者から一般市民・企業まで多様な参画による、市民全体・地域全体の課題として、自分たちの事として、一緒に参画できる啓発活動が必要です。

そこで、私たちは、認知症に関わる様々な人が共に集い、社会での不安感、孤立感を解決し、すべての人が心豊かに安心して暮らせるよう、一人でも多くの方に「認知症」について正しい理解を啓発することを目的として、様々な業種の企業・法人有志の参画・協働により「ひめじ認知症啓発協議会」を設立し、活動しています。

【ひめじ おれんち` 実行委員】2018

座長 武田 英樹 (美作大学 准教授)
副座長 谷村 忠之 (認知症の人と家族の会兵庫県支部 世話人副代表)

寺島 明 (中播磨認知症疾患医療センター センター長)
東 靖人 (医療法人公仁会 理事長 姫路中央病院附属クリニック院長)
日下部 達也 (神姫バス株式会社 (株) ホープ)
加藤 賢司 (兵庫信用金庫 総務部長)
成定 啓子 (姫路市医師会地域医療連携室 姫路市在宅医療・介護連携支援センター センター長)
一丸 智司 ((株)ぼうしや薬局地域医療推進室)
森保 純子 (認知症の人と家族の会 兵庫県支部 世話人)
北島 正紀 (飾磨橋東地区連合自治会)
田中 洋三 (認定NPOはりま総合福祉評価センター 理事長)

(2019.03.31現在)

ひめじ おれんち` (ひめじ認知症啓発協議会)

ひめじ おれんち`は、事務局:認定特定非営利活動法人 はりま総合福祉評価センターが事業主体となり、啓発事業の一環として、多様な業種の法人やたくさんの市民の方々による参画・協働により、運営されています。

【2018年度 活動実績】

【認知症と介護離職の防止について】

《講師》

医療法人 公仁会 理事長
姫路中央病院附属クリニック 院長
東 靖人 先生

2018年度『ひめじおれんち』プロジェクト』第一弾として、姫路中央病院附属クリニック院長の東靖人先生をお招きして【認知症と介護離職の防止について】と題したご講演をしていただきました。

平日水曜日の夜からの開催でしたが、100名近くの方がご来場され、認知症を抱える家族の現状や仕事を辞めざるを得ない状況において、日々患者さんの診療をされる先生の見解や医学的な観点から認知症の症状などについてご講演いただきました。

平成30年7月11日（水曜日）【姫路商工会議所 大ホール】



【認知症のなおしかた】

《講師》

兵庫県立姫路循環器病センター
高齢者脳機能治療室長
中播磨認知症疾患医療センター長
寺島 明 先生

2018年度『ひめじおれんち』プロジェクト』第二弾として、高齢者脳機能治療室長・中播磨認知症疾患医療センター長の寺島明先生をお招きして【認知症のなおしかた】と題した講演をしていただきました。当日は、生憎の天候でしたが285人の方にご来場いただきました。

「認知症のなおしかた」について多くの方が興味関心をもち、認知症の予防の重要性や規則正しい生活のすすめや早期診断・早期発見の重要性についてご講演いただきました。

平成30年9月8日（土曜日）【姫路市市民会館 2階大ホール】



【姫路城オレンジライトアップイベント】 姫路市立飾磨高等学校 吹奏楽部

9月21日の世界アルツハイマーデーにあわせて、全国各地で認知症を啓発するイベントや取り組みが行われました。

ひめじ認知症啓発協議会でも、世界文化遺産である姫路城をオレンジ色にライトアップする取組や各種団体の方による、認知症啓発の行進、姫路駅前にぎわい広場でのイベントを開催しました。

当日は、生憎の曇り空となり、姫路駅前にて姫路城をオレンジ色にライトアップする前のイベントの中止する案もでていましたが、なんとか実施する方向ですすめていた矢先に、雨が降り始めてしまい、ゆるキャラの登場やインタビューなど一部のプログラムを実施することを断念せざるを得ない状況となりました。

急遽イベント会場の仕様やプログラムを変更し、駅前広場でメインとなる姫路市立飾磨高等学校の吹奏楽部総勢72名の生徒さんによる演奏を披露していただくことができました。

18時頃には、世界文化遺産である姫路城が認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色にしだいに染まっていく姿を駅に行き交う方に対してご覧いただくことができたのではないのでしょうか。またプロジェクトに参画する企業ならびにボランティアの方々、姫路市立飾磨高等学校のボランティア部の皆さんがティッシュやサイリウムなどを配り、認知症に対する理解を伝えながら啓発活動を行っていただきました。

一般市民の方や企業からのご寄附やご支援、ご協力により、この状況下においてイベントを成功させることができましたことを心より感謝申し上げます。

平成30年9月21日（金曜日）【姫路駅前 にぎわい広場・大手前公園】





認知症啓発協議会の取り組み ～ひめじおれんぢプロジェクト2018～

ひめじ認知症啓発協議会(通称:ひめじおれんぢ)
座長 武田英樹(美作大学)

「進めよう! 深めよう! わがまちの認知症ケア」を合言葉に姫路市における認知症に関する啓発活動を始めて、3年が経過しました。年を重ねるごとに賛同して下さる仲間も増え、“継続は力なり”の言葉を実感する日々です。私たちが組織している「ひめじ認知症啓発協議会(愛称:ひめじおれんぢ)」は、“たとえ認知症になっても安心して住み続けられるまちづくり”を姫路から発信していこうという想いに賛同した有志によって結成されました。協議会の実行委員には、認知症の人とその家族の会兵庫支部、神姫バス、兵庫信用金庫、ぼうしや薬局、中播磨認知症疾患医療センター、姫路中央病院、飾磨橋東自治会、はりま総合福祉評価センターなど、保健医療・福祉関係機関だけでなく、地元の企業や自治会も参加しています。この活動費は全額を市民と企業からの寄付によって賄われています。今年度も大変多くの市民、医療機関、福祉事業所、一般企業と多くの方々から多額の寄付をいただきましたこと感謝申し上げます。

本協議会は愛称を「ひめじおれんぢ」としています。オレンジ色は認知症ケアのシンボルカラーとなっています。なぜ愛称の表記が「オレンジ」や「おれんぢ」ではなく、「おれんぢ」なのか。この「ぢ」には「地域」の「ち」と在宅ケアの意味を込めて「俺ん家(おれんぢ)」の「ち」が込められています。



さて、今年度の催しとしては2つの講演会とライトアップイベントを開催いたしました。1つ目は、東靖人先生(医療法人公仁会理事長)による「認知症と介護離職の防止について」(会場:姫路商工会議所大ホール)です。この講演会は、実行委員から、「企業において職員の介護離職が深刻な問題となっている。企業としても対応に苦慮している」という意見がでたことが発端となって企画されたものです。これまでの催しは、市民、医療福祉職への企画が中心でしたが、今年度は新たに企業を対象とした初めての企画でした。認知症の方の暮らしやすさは介護者である家族の暮らしによっても大きく左右されます。そして、介護者世代の生活を支える上で就労継続は大きな柱となるでしょう。今後も企業向けの催しを模索していきたいと考えています。2つ目は寺島明先生(中播磨認知症疾患医療センター長)による「認知症のなおしかた」(会場:姫路市市民会館大ホール)です。寺島先生は本協議会の設立メンバーであり、毎年、様々なテーマで市民向け講演会の講師を務めていただいています。寺島先生の講演会は3年目を迎え、年を追うごとに観客動員数が増え、市民の皆様にも浸透してきたことを実感しております。そして、私たちの協議会の最大イベントとなる「世界アルツハイマーデーに世界文化遺産姫路城をオレンジ色にライトアップ」という企画です。2016年、2017年に続き、2018年も9月21日の世界アルツハイマーデーに市民や地元企業の協力のもとライトアップを実現することができました。イベントには昨年に引き続き姫路市から甲良健康福祉局長が応援の挨拶に駆けつけてくださいました。



今年の姫路城ライトアップイベント(会場:姫路駅北にぎわい広場)の目玉は、姫路市立飾磨高等学校吹奏楽部約70名にオープニングにて演奏していただきました。圧巻でした。感激しました。エネルギーを感じました。駅前東側にオープンした某ホテルから会場となった広場が見渡せます。ロビー階のガラス越しに演奏に聴き入る宿泊客の人だかりができたことが印象的でした。飾磨高等学校のホームページによると3年生の生徒さんにとっては高校生活最後の演奏となるイベントであつたらしく、引退演奏として本イベントに華を添えてもらえたことにも感謝します。

また、同じく飾磨高等学校の福祉活動部の生徒さんもボランティアスタッフとして会場準備から認知症啓発のウォーキングにと大活躍してくださいました。私の所属している美作大学社会福祉学科のゼミ生も参加してくれました。こうした若い世代にも活動の幅が広がってきたことはとても喜ばしいことです。今回参加してくれた生徒・学生の皆さんにとっても認知症啓発について心にどめる機会となってくればと願います。

さらに3年目となり認知症ケアの啓発に向けて作成したオリジナルキャラクターとオリジナルポスターも定着してきたと思います。これらは姫路市出身のイラストレーターであるイヌイマサナリさん(ロンドン在住)がデザインしてくださったものです。



世界遺産姫路城を認知症ケアのシンボルカラーにライトアップすることは市民に興味関心をもってもらう上でインパクトの大きなものです。しかも、このライトアップは行政機関主導でもなければ、公的資金も投入されていないということも、市民活動として大きな意味をもっているといえるでしょう。今後も市民と地元企業の手で地道に啓発活動を続けていくことで「9月21日に姫路城がオレンジ色にライトアップされるらしいよ」「姫路城がオレンジ色になってるなあ、そうかあ今日は世界アルツハイマーデーの日か～」と市民に認知症ケアに関する認識度が高まるように継続していきたいと思えます。

「ひめじおれんぢ」こと認知症啓発協議会の活動目的は「認知症になっても住みやすいまちづくり」です。この世界遺産姫路城のライトアップは啓発の手段の一つです。決して、ライトアップイベントが目的ではありません。これからも様々な視点から、講演会や研修会など啓発活動を地道に積み上げて参りたいと思えます。

最後にお願ひです。ひめじおれんぢは、多くの賛同者をお待ちしています。市民と地元企業の方で住みやすいまちづくりを進めましょう。この活動は、いま認知症である人やその家族だけでなく、将来の自分たちと家族、友人、さらには未来の子どもたちの幸せなまちづくりに繋がるものです。

ひめじおれんぢプロジェクト2019も応援のほどよろしくお願ひいたします。

人は一人では生きていけない

みんなの心が集まれば、ほっこりしたまちが創り出される



第3回 姫路城オレンジライトアップ認知症啓発ウォーク

ひめじ認知症啓発協議会 委員

(認知症の人と家族の会兵庫県支部 世話人副代表)

副座長 谷村 忠之

「9月21日は世界アルツハイマーデー」「認知症になっても住みよい街姫路をつくりましょう」などの啓発コールと傷テープやティッシュの配布。認知症啓発ウォークも4回目(姫路城オレンジライトアップ1年前から実施)になり、商店街の方々には馴染みになってきたのではないのでしょうか。今年のウォークの特筆は、姫路市立飾磨高等学校の生徒さんが参加してくれたことです。大手前公園での集合写真には間に合わず残念でしたが、啓発コールやティッシュ配りに活躍してくれました。活動に拡がりが見えとても有意義なウォークになりました。協力いただいた団体は「なごみの会」「麦の芽会」「認知症の人と家族の会」「飾磨橋東連自治会」「ひめじおれんぢ」「姫路市立飾磨高等学校の生徒さん」で計40名の行進となりました。

参加くださった皆さんに御礼申し上げます。

また今年も認知症啓発ウォークを実施する計画です。

沢山の方の参加を期待しております。(啓発ウォーク担当 谷村忠之)



「ひめじ おれんぢ プロジェクト」 3年目の活動と今後の期待

ひめじ認知症啓発協議会 委員

(中播磨認知症疾患医療センター センター長)

寺島 明

2018年9月21日、世界アルツハイマーデーの日は雨となりました。そんな中、姫路城が3度目のオレンジ色にライトアップされました。姫路駅前広場では、例年通りライトアップ・オープニングイベントが開催され、今年は高校生のブラスバンド演奏が披露されました。これから、若い人たちにこの活動が広がっていく可能性を感じさせてくれる時間となりました。

この日に先立って、9月8日に姫路市市民会館で認知症の講演会が開催されました。今年は「認知症のなおしかた」をテーマにお話をさせて頂きました。参加する市民の数は毎年増えてきており、今年は300人を超す方々に来ていただき熱心に聞いていただきました。看板に偽りありで、「『なおしかた』とは何事か」とアンケートに書かれた方もおられました。ご存知の通り、認知症を根本的に治す薬はまだ世に出ていません。しかしながら、発症を遅らせたり、進行を抑制したりする手立てはたくさん出てきています。

今回の講演では、開発中のお薬や、新たな予防法のお話をさせて頂きました。認知症は歳を取れば誰でもかかる可能性のある病気です。そして、環境や介護方法で症状が全く違ってくる病気でもあります。このために、病院の中だけに治療がとどまるのではなく、社会を巻き込んだ環境づくりが必要とされる典型的な病気です。

厳密に言えば、すべての病気について予防が最も大切であり、それが膨大な医療費の削減にもつながります。先進国ではすでに実績を上げてきており、認知症に関して言えば、患者の数が予想よりも確実に減少してきています。この経済効果は大きなものであり、各国が認知症の治療、予防にさらに力を入れている状況です。

さて、我が国に目を向けると、残念ながら予防に力を入れるシステムができていません。病気が増えるほど医療機関が儲かるシステムになっており、予防が成功して患者が減ると病院がつぶれてしまうことになってきます。

国や県が主体的に動かないのであれば、民間のプロジェクトが力を発揮しなければなりません。「ひめじ おれんぢ プロジェクト」は民間が主体の「ひめじ認知症啓発協議会」です。その役割は、ますます重要なものとなってきており、認知症予防の活動や、認知症の人に優しい街づくりの活動に期待がかかります。

これから、このプロジェクトがどう発展していくのか、市民の皆さんにも大いに参加していただき、みんなで育てていければと願っています。



ひめじおれんぢプロジェクトによせて

ひめじ認知症啓発協議会 委員
医療法人公仁会 理事長 姫路中央病院附属クリニック院長
東 靖 人

認知症は大変、数の多い病気で経過も長く、診断、治療、療養、介護のためにいろいろな時期に、いろいろな職種が、異なった技術を持ってアプローチが必要な病気です。また認知症は症状名で、その中にはさまざまな疾患が含まれています。こういった多彩な面をもつ認知症を、うまくみてゆくためには多職種の連携が必須です。

私が認知症診療に本格的に取り組むようになったのは、2004年に当院にPET画像センターができて脳の機能画像、FDG-PETを行うようになってからです。当時は元兵庫脳研の複数の先生方にお手伝いいただき、診療をはじめました。その当時は、どこでどれくらいの認知症患者さんが診療、療養されているのかもよくわからない状態でした。しかしその後はいろいろな講演会、研究会、カンファレンスが開かれるようになりました。及ばずながら私達もいろいろと企画してきています。当初はまとまりのない単発の会が多い印象だったのですが、最近では成熟してきたのでしょうか、参加者のレベルアップもありまとまったレベルの高い会が多くなってきている印象です。ここに認知症をみてゆく仲間がいる感じがして、一体感があるようになってきました。

「進めよう！深めよう！わがまちの認知症ケア！」が合い言葉のこのプロジェクトですが、なんと一体感のある素晴らしい合い言葉でしょう。お城をオレンジ色に染めて、みんなが認知症を考える時間を持つことが大切であると考えます。私も私達の姫路中央病院もこのプロジェクトに参加させていただき、及ばずながら、当地の認知症疾患医療センターとして活動してゆきたいと思っています。



ひめじ認知症啓発協議会 委員
(神姫バスグループ (株)ホープ)
日下部 達也

「おれんぢプロジェクト」による姫路城のライトアップも今回で3回目の実施となりました。只でさえ美しい世界文化遺産の姫路城が認知症啓発カラーであるオレンジ色に染まり、さらに美しさを増すという唯一無二のイベントですが、多くの人に認知症への関心を持ってもらうための啓発活動として、年々定着してきたのではないのでしょうか。

しかしながら今回は天候が雨模様ということで、実は数日前から実施が危ぶまれていました。世界アルツハイマーデーである9月21日の実施に大きな意味がありますので延期することも出来ず、ぎりぎり直前まで待つて雨天決行に踏み切ったのは見事な判断だったと思います。ただ雨の中でのティッシュ配りとなったのは少々辛いものがありました。…全てのスタッフの皆様、大変お疲れ様でした。駅前イベントにおいては、毎年子供たちに大人気の「しろまるひめ」や「ニコパちゃん」などのゆるキャラたちが何と雨で濡れるのはNGとのことで登場出来ない事態となってしまいました。ですが、メインであります飾磨高校吹奏楽部の皆様の演奏が雨を吹き飛ばすほどの盛り上がりを見せてくれたのです。誰にでも馴染みのある楽曲は耳に心地よく、何よりも迫力のある大変素晴らしい演奏でありました。また曲と曲の間をつなぐミニコント？も楽しませていただきました。この日のためにかなり練習されたのではないのでしょうか。心から感謝申し上げます。見て下さった大勢の方々にも大変喜んでいただけたと思います。

今後の課題としては運営のための資金集めです。このイベントは公費に頼らず、一般の方々および企業・団体等からの寄付のみで運営しています。これは皆様の善意で成り立っているという大変素晴らしいことである一方、非常に不安定であるとも言えます。つまり寄付が思うように集まらなければ実施出来ないというリスクがあるのです。これからも毎年継続していくためにはイベント内容をさらに充実させていくとともに、様々な媒体での広報活動により、賛同いただける「おれんぢファン」を少しでも増やしていきたいですね。認知症の方々が住み慣れた街で安心して暮らせるよう、地域ぐるみで見守っていく必要がある中で、この啓発活動を通じてより多くの方々に関心を持ってもらうことが出来れば幸いです。今後も神姫バスグループとして認知症啓発活動にご協力させていただきたいと思っています。



ひめじ認知症啓発協議会 委員

姫路市在宅医療・介護連携支援センター（姫路市医師会

地域医療連携室）

成定 啓子



世界アルツハイマーデーに世界文化遺産姫路城をオレンジ色に！「ひめじおれんぢ」の活動は4年目に突入しました。去年は飾磨高校の学生さんと一緒に活動することができ、ひめじおれんぢの幅が広がったように感じます。素敵な音楽をありがとうございました。認知症の方が地域で普通に過ごせる社会になるには…まだまだ、道のりは遠く感じますが、いろんな分野の仲間たちと楽しんで取り組んでいきたいと思っています。

みなさんも、自分や子供たちの未来のために「ひめじおれんぢプロジェクト」に参加しませんか？ イベントに参加したり、一緒にオレンジのTシャツを着たり、寄付という形で姫路城がオレンジ色にすることもできます。是非、ご一緒に！

ひめじ認知症啓発協議会 委員 （〔株〕ぼうしや薬局地域医療推進室） 一丸 智司



私は、「ひめじ認知症啓発協議会」のメンバーとして、2018年9月21日の世界アルツハイマーデーに実施された認知症啓発イベント「姫路城ライトアップイベント」に3年連続で参加しました。姫路城ライトアップイベントは、「認知症」に対する全体的な啓発の意味合いで企画されたもので、姫路城ライトアップイベントの実施にあたっては、NPO法人はりま総合福祉評価センターの方々を軸に有志メンバー、業種の異なる地域の企業などで組織されています。イベントの実施に際しては寄付金を募り、「市民の手でライトアップさせる」をモットーに取り組んでいます。

イベント当日は、お昼過ぎからたくさんのボランティアスタッフの方々にはらしていただきました。私たちは、薬局実習を行っている大学生も引率して参加しました。恒例となっている駅前広場でのライトアップイベントの他、今年はお城の近く（大手前公園のあたり）でも啓発活動の一環として、のぼりを立ててアピール活動を行いました。市民の方はお声掛けにとっても積極的に応対くださり、本イベントの趣旨などをご説明させていただくことができました。日没と同時に姫路城はオレンジ色にライトアップ！毎年同様、とても素晴らしいオレンジ色の世界遺産・姫路城を眺めることができました。街ゆく人は足を止めて姫路城を見てくださっており、啓発イベントをやってよかったといつも感じる瞬間です。

認知症の啓発は、1回のイベントで大きく前に進むものではないかもしれませんが、しかし、一歩も踏み出すことなく啓発活動を前に進めることはできません。今回の姫路城ライトアップイベントが、姫路における認知症啓発の活動にとって継続的な足掛かりとなるよう、また「薬局薬剤師として果たせる役割は何か」を常に問い続けながら、今後も取り組みを継続して参りたいと思います。



ひめじ認知症啓発協議会 委員 （〔株〕ぼうしや薬局地域医療推進室） 山本 奈穂

今年も姫路城ライトアップイベントに参加しました。このイベントは3年前から行われています。『今年もやっているね』というお言葉をいただくことができ、市民の皆さんにも世界アルツハイマーデーである9月21日に姫路城がオレンジ色になることを認識していただけていると実感し、嬉しく思いました。また今年も、飾磨高校の吹奏楽部の皆さんの素敵な演奏がありました。多くの市民の方が足を止めて聞いてくださり、イベントを楽しんでいただけていると嬉しく感じました。

イベントを楽しんでいただくだけでなく、認知症について正しく知っていただき、認知症の方やそのご家族へそっと手を差し伸べることができる姫路になるように、薬局薬剤師として何ができるかを考えて、活動を続けていきたいと思っています。





ひめじ認知症啓発協議会 委員
(認知症の人と家族の会 兵庫県支部 世話人)
森保 純子

今年、私にとってステージ司会2年目の姫路城オレンジライトアップでした。昨年もそうでしたが、9月21日が近づいてくると一番気になるのはお天気。ちょうど台風の多い時期です。9月になってから毎日何度も天気予報を見て、「9月21日、晴れますように！いや、曇りでもいいから、降らないで！！」と祈っていましたが・・・。

朝からどんより曇り空、今にも降り出しそう。そして、お昼ごろ、スタッフ集合時間の直前から降り始めました。今年のステージは姫路市立飾磨高等学校吹奏楽部の皆さんによる演奏で、雨が降ると楽器が濡れてしまう・・・。降り出した雨に絶望しそうになりながらも、なんとかステージができるように、飾磨橋東地区連合自治会からお借りしたテントをステージ上に持って上がり、これでなんとか！！その思いが通じたのか、開始時刻ギリギリで雨は止まり、吹奏楽の演奏にもゴーサインが出ました。その後も雨が降りかけましたが、無事にステージが終わり、姫路城のライトもオン！オレンジ色に光る腕輪をつけた大勢の人が、姫路城に見入っていたのは感動的な時間でした。

「姫路城がオレンジ色になったら認知症が治るのか？」と問われれば答えはノーです。でも、認知症が誰にも自分の身近なこととして感じられると、地域は思いやりのある住みやすい場所になると思います。「今日の姫路城はなぜオレンジ色なの？」そう思い、知ることは大切な第一歩。姫路城オレンジライトアップは私たちの今と未来のための取り組みです。今年も、大勢の皆様の支えと関心によって、開催することができました。また来年も、皆様と一緒に「認知症になっても安心して暮らし続けられる」ような地域社会づくりを続けていきたいと思っています。



「2018年9月21日 世界アルツハイマーデーに参加して」

ひめじ認知症啓発協議会 委員
飾磨橋東地区連合自治会
オレンジカフェ しかま
北島 正紀

ひめじおれんぢプロジェクト実行委員として、飾磨橋東地区連合自治会(オレンジカフェしかま)としてお声がけを頂き、初めての事業活動参加が、姫路城ライトアップの「世界アルツハイマーデー」でした。総勢15名、会長はじめ全員啓発活動の成功を願い、高揚する気持ちのまま参加致しました。

前日からの天気予報も心配の種、もう真っ向から自然に立ち向かうしかない、当日予報は当たり激しく降るときもありましたが、天に通じた活動は雨も遠慮して無事成功裏に終了しましたことは誠に喜ばしい限りでありました。

さてここで、初参加のわたくしたちの活動ぶりをご報告致します。参加者15名、男性5名・女性10名の内訳でした。活動内容も十分把握してなく、不安と戸惑いの中で、準備が始まると、そこは年の功と経験から自分たちは何をすべきかをすぐ直観、テント設営の指導(若い方が多くいて助かった)、ボード組み立てと男はすぐお役に立ったようでした。また、女性軍には啓発啓蒙活動の最前線での、本部側とお城側に分かれて時間交代でどちらの活動も体験してもらいまして、行進も物の配布も「こんな事したこと無かったが、相手に気持ちを伝える難しさが立場になって、その苦勞が分かった」と「しかし楽しい、うれしい言葉もあった」と感激もありましたとの、感想でした。

皆さんオレンジTシャツもよく似合い、自分たちの気持ち整理につながったと思いました。本当に参加させて頂き有り難う御座いました。今後も皆様のご指導で頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

さて、ここで少しだけ飾磨橋東地区連合自治会としての「オレンジカフェしかま」のご紹介をさせていただきます。2019年7月で5年目に入ります、月1回・参加者平均約120名規模で継続出来ました事は「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」を課題として取り組んでいる連合自治会の姿勢は、ボランティアスタッフと地区各種団体及び関係機関の協力支援体制の確立、それに毎月生活の一部として参加される地域の方々へ「継続・連携・発展」を目標にさらなる地域の活性化の一環として活動できますよう願っている次第です。

プロジェクトの皆様、今後ともご支援ご協力いただく皆様、飾磨橋東地区連合自治会(オレンジカフェしかま)の出発点と致します。今後ともよろしくご指導の程お願い申し上げます。





認知症ライトアップに寄せて

ひめじ認知症啓発協議会 委員
NPO法人 はりま総合福祉評価センター 理事長
田中 洋三

日常の生活においても認知症に関して様々に話題になる昨今です。情報量も多くなり認知症を患う人たちのおかれている環境が改善されているとの実感がありますが、まだまだ強く否定されているのも事実でしょう。多くの人には健康に対する選良主義があり、自分たちの考える基準で選別しているようです。しかしその考えも高齢者の数が増え、認知症の人も珍しくなくなってきて日々変わってきています。

その時々みんなの価値観で、生活のしづらさが登場して、それらを克服すると次の課題が出てきます。その繰り返しの中で私たちは一つの考え方を見つけています。「地域包括ケアシステム」は地域と医療と介護の連携を目指しています。しかしながらもう少し考えを広げて、地域で暮らす高齢者、障害者、子供たちなどすべての人が社会から孤立せず、安心してその人らしい生活を送ることができる地域作りが必要です。「地域共生社会の実現」といわれるその活動が広がってきています。「町の保健室」「子供食堂」「認知症カフェ」や「生き生き体操」がそれらです。

個々の運動には共通の思いがあり、国はそれを「支援を必要とする住民(世帯)が抱える多様で複合的な地域生活課題について、住民や福祉関係者による①把握及び②関係機関との連携等による解決が図られること」として「我が事・丸ごと」といっています。認知症を取り巻く様々なことを大人も子供もみんなを感じて考えるシンボルとして姫路城をオレンジ色にライトアップすることがあります。さらに今回は飾磨高校の高校生が雨の中みんなを引っ張ってくれたこともその象徴として特筆すべきでしょう。この姫路の地域が「支援を必要とする住民(世帯)」にとって安心出来る住みやすい町にすることを目指してこれからも継続的に活動を続けて行きましょう。



認知症支援 訴える光

国際啓発デー 姫路城ライトアップ



認知症への理解を広めようとオレンジ色にライトアップされた姫路城＝姫路市本町

世界アルツハイマーデーの21日、認知症への地域の理解や支えを呼びかけようと、イメージカラーであるオレンジ色のライトアップが各地で行われた。姫路市の世界文化遺産・国宝姫路城も日没後、温かなオレンジ色に照らされた。

国際啓発デー 姫路城ライトアップ
認知症への関心を高めようと1994年に定められた啓発デー。今年是全国47カ所がライトアップに参加し、兵庫県内では明石海峡大橋などでも実施された。ライトアップを前に、JR姫路駅北側では認知症の人の家族ら約30人が「認知

症になっても住みやすい街に」となど声を上げながら行進した。妻が認知症という同市の谷村忠之さん(78)は「誰もがなり得る病気だが、地域の関心はまだ低い。周囲に相談できる社会になれば」と話した。
(小林良多)



③ 荷役のつた現在の「神戸港区波止場

ての構図を、周囲の関係者が利用している形だ。意識の中から消え去ったわ「港に関わるシノギ(資)けではない。||呼称略||

出荷している品で検査アーる不正があ、部品の硬り決めた品ない製品で実際とは異を記載して47社への納いるという問題があっ

父親刺 懲役12

自宅で父親て、殺人罪

市東水区の(30)に對

判決公判がであり、声

役12年(求

言い渡した

判決などに

る父佳昭さ

からしから

し、胸など

刺して失血

芦高裁判長

家にひきこも

廉価ブランド「ワイモバイ

家



認知症と介護離職の防止について

平成30年

会場：姫路商工会議所
(2階大ホール)

7月11日(水)

受講無料

受付 18時00分開始

開演18時30分 20時15分終了

《講師紹介》
医療法人 公仁会 理事長
姫路中央病院付属クリニック 院長
東 謙人 先生



プログラム

- 18:00 受付
- 18:30 開会の挨拶
ひめじ おれんぢプロジェクトについて
はりま総合福祉評価センター
理事長 田中 洋三 氏
- 18:45 講演
認知症と介護離職の防止について
医療法人 公仁会 姫路中央病院
理事長 東 謙人 先生
- 19:55 質疑応答
- 20:10 閉会の挨拶
兵庫県立 姫路循環器病センター
中播磨認知症疾患医療センター
センター長 寺島 明 先生



姫路商工会議所へのアクセス

山陽姫路駅、山陽電車姫路駅から北東へ、徒歩20分
神姫バス
①日比町行乗車→商工会議所前下車
②馬場神社行、夕陽丘行、別所行乗車→坂田町下車
③山陽自動車 姫路東ICより、矢印の方向へ
④姫路バイパス 矢印の方向へ(所要時間約15分)
⑤播但連絡道路 矢印の方向へ(所要時間約15分)
※姫路商工会議所は駐車場がございます。(有料)

申込みは不要です
お気軽にご来場ください

主催：ひめじ おれんぢ プロジェクト (ひめじ認知症啓発協議会)
後援：姫路市、姫路市医師会
実行委員：認知症の人と家族の会兵庫県支部、神姫バス、兵庫信用金庫、中播磨認知症疾患医療センター、姫路市医師会、ほうじや薬局、姫路中央病院、姫路東地区連合自治会、はりま総合福祉評価センター
お問い合わせ事務局：特定非営利活動法人 はりま総合福祉評価センター
姫路市安田4丁目1番地 姫路市役所北別館3階
TEL：079-287-3000 FAX：079-287-3200 MAIL：harima-3@h-294.com



認知症のなおしかた

平成30年

受講無料

会場：姫路市市民会館
(2階 大ホール)

9月8日(土)

受付 13時30分開始

開演14時00分 16時00分終了

《講師紹介》
兵庫県立 姫路循環器病センター
高齢者脳機能治療室 センター長
中播磨認知症疾患医療センター長
寺島 明 先生



プログラム

- 13:30 受付
- 14:00 開会の挨拶
- 14:15 講演
テーマ：認知症のなおしかた
兵庫県立 姫路循環器病センター
高齢者脳機能治療室長
中播磨認知症疾患医療センター長
寺島 明 先生
- 15:25 質疑応答
- 15:45 閉会の挨拶



姫路市市民会館へのアクセス

姫路市社本町112番地、国道2号線東行き沿いにあります。
JR姫路駅、山陽電車姫路駅から北東へ、徒歩15分。
神姫バスでは、姫路駅バスターミナル15番のりばから「夕陽ヶ丘」行き、「馬場神社」行きで「市民会館前」下車
※市民会館には駐車場がございます。市民会館周辺の有料駐車場をご利用ください。

申込みは不要です
お気軽にご来場ください

主催：ひめじ おれんぢ プロジェクト (ひめじ認知症啓発協議会)
後援：姫路市、姫路市医師会
実行委員：認知症の人と家族の会兵庫県支部、神姫バス、兵庫信用金庫、中播磨認知症疾患医療センター、姫路中央病院、ほうじや薬局、姫路東地区連合自治会、はりま総合福祉評価センター
お問い合わせ事務局：特定非営利活動法人 はりま総合福祉評価センター
姫路市安田4丁目1番地 姫路市役所北別館3階
TEL：079-287-3000 FAX：079-287-3200 MAIL：harima-3@h-294.com

進めよう！ 深めよう！ わがまちの認知症ケア！



9月21日(金) 日没後点灯

ライトアップ当日 オープニングイベント

JR姫路駅北側 にぎわい広場
17:00~

ステージ『姫路市立師範高等学校 吹奏楽部』

鑑賞70名の姫路市立師範高等学校 吹奏楽部の皆さんによる演奏
※雨天荒天時にはステージイベントが中止になることがあります。

ご来場者には認知症啓発のシンボルカラーがあり
ます。おれんぢの色の上着や帽子、靴下を身につけてください。

ライトアップ プレ講演会開催のご案内

日時：平成30年9月8日(土) 14:00~16:00

場所：姫路市市民会館 2階 大ホール

タイトル：『認知症のなおしかた』

申し込み、受講料は不要です。

この機会に私たちと一緒に認知症について学びませんか？

主催：ひめじ おれんぢ プロジェクト (ひめじ認知症啓発協議会)
後援：姫路市、姫路市医師会
実行委員：認知症の人と家族の会兵庫県支部、神姫バス、兵庫信用金庫、中播磨認知症疾患医療センター、ほうじや薬局、姫路東地区連合自治会、はりま総合福祉評価センター
お問い合わせ事務局：特定非営利活動法人 はりま総合福祉評価センター
姫路市安田4丁目1番地 姫路市役所北別館3階
TEL：079-287-3000 FAX：079-287-3200 MAIL：harima-3@h-294.com

世界アルツハイマーデーに 姫路城がオレンジ色にライトアップ！

ひめじおれんぢ

ライトアップ オープニングイベント
9月21日(木) 日没後点灯
当日17:00~19:15
会場：姫路駅北にぎわい広場(JR姫路駅北口駅前)
雨天荒天時はステージイベントは中止となります。
出演：認知症の人と家族の会兵庫県支部、神姫バス、兵庫信用金庫、中播磨認知症疾患医療センター、神戸新聞社、姫路市医師会、ほうじや薬局、姫路中央病院、姫路市介護サービス第三者評価協議会
お問い合わせ TEL：079-287-3000

ひめじおれんぢプロジェクト

進めよう！深めよう！わがまちの認知症ケア

2018年度の取り組み



働く介護者のやくわり
仲間である
こまかせる
一緒にできる環境をつくる
新たなケアマネをさがす
自分の生活をどうしたいのか常に
の会社に報告する
介護者をつくる



協賛金・寄付金のご協力のお礼

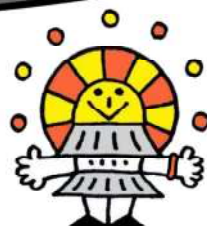
認知症の啓発活動として、講演会・シンポジウムやセミナー・姫路城のオレンジライトアップを行い、皆様方に協賛金・寄付金をお願いをしてまいりました。
皆様方からご寄付いただいた資金によって無事に各啓発活動を実施することが出来ました。

2018年度は3年目の活動となりましたが、多くの法人・団体様をはじめ、たくさんの個人の皆様方からも、ご協賛あるいは、ご寄付を頂きました。また、職種を越えた多方面にわたる多くの方々から、活動にご協力をいただき、本当にありがとうございました。

ひめじ おれんち` は、今後も認知症の啓発活動として姫路城オレンジライトアップをはじめ、様々な啓発活動に取り組むべく活動を継続しています。

皆様方からも、引き続き変らぬご支援、ご理解ご協力を頂けますよう、お願いいたします。

ご支援いただき、ありがとうございました。
ご寄附・ご協賛をいただきました個人様・法人・団体様をご紹介します。



居宅つばめ 若松 様
ヒューゲルリッター 様
福井 浩一 様
鈴木 まち子 様
武田 幹人 様
山田 園子 様
坪井 文恵 様
渡邊 茂 様
山本 一嘉 様
熊谷 光子 様
脇田 英二 様

亥下 徳子 様
谷村 忠之 様
大竹 義仁 様
居宅つばめと岸軍団 様
居宅つばめと姫路居宅連合 様
幕内 琴代 様
山田 陽子 様
上田 紗也 様
田中 流斗 様
番能 吉茂 様
中西 安香音 様

佐菜 瑠未 様
田中 布子 様
武田 英樹 様
尾崎 勝彦 様
認知症の人と家族の会 兵庫県支部 様

あなたの、いちばん近くにある安心。



有限会社BLOOM

たつの市龍野町中霞城149

デイサービス ひなた
デイサービス 縁
デイサービス 清か

NPO法人 がじゅまる

居宅介護支援事業所
がじゅまる

たつの市龍野町北龍野454

TEL 0791-63-3644

FAX 0791-63-3664



ヘルパーステーション かけはし 介護タクシー かけはし

コミュニケーションを重視した
サービスに取り組んでいます。



〒672-8016
兵庫県姫路市木場1270
TEL:079-246-8330



訪問看護ステーション・いなほ

24時間対応致します。

職員募集中

電話:079-277-7110(代表)
FAX:079-277-7120
T671-1575
兵庫県揖保郡太子町佐用岡965-3



中播磨 認知症疾患医療センター

〒670-0061 姫路市西庄甲520

電話: 079-295-9195

お電話でのご相談・お問合せや面談での相談を受け付けております。



城陽江尻病院

〒670-0947

兵庫県姫路市北条一丁目279

TEL: 079-225-1231

FAX: 079-222-0154

光寿会クリニック

〒670-0947

兵庫県姫路市北条一丁目385

TEL: 079-225-8551

FAX: 079-225-8552

社会医療法人 三栄会



ツカザキ病院

基幹型臨床研修病院

〒671-1227

兵庫県姫路市網干区和久68-1

TEL: 079-272-8555 (代表)



医療法人 山伍会

播磨大塩病院

姫路市大塩町の精神科専門病院

〒670-0101

兵庫県姫路市大塩町1096

TEL: 079-254-0321 (代表)

FAX: 079-254-5345

医療法人 恵風会 高岡病院

人間愛に基づいた医療を行い、社会に貢献します
診療科目: 精神科・神経内科・心療内科・内科・歯科

〒670-0061

兵庫県姫路市西今宿5丁目3番8号

TEL: 079-293-3315 (代表)

FAX: 079-294-5311



医療法人 公仁会

姫路中央病院

姫路中央病院附属クリニック

(兵庫県認知症疾患医療センター)

〒672-8501

お問合せ窓口 兵庫県姫路市飾磨区三宅2丁目36番地

TEL: 079-235-7353

FAX: 079-233-0854

つだ歯科の訪問歯科 8つの特徴 ~口から食べる幸せいつまでも~

1. 痛い時に2日以内に駆けつけます。
2. 通院とほぼ同じ治療ができます。
3. 治療以外の口腔ケアの相談も対応。
4. 家族の付き添いなしでも対応。
5. 交通費等は一切不要。
6. 嚥下訓練、嚥下内視鏡検査にも対応。
7. 無料健診も対応。
8. 口腔ケア・摂食嚥下講習会も開催。

嚥下(えんげ)訓練

「食べ方」食べる「力」の訓練

口腔内装置

飲み込みを助ける装置の提案

食環境改善の指導

より安全に楽しく食事を!

訪問専用の機器により 通院治療に準じた対応が可能です。



嚥下検査用経鼻内視鏡



レントゲン



高速切削機



つだ
歯科
の
訪
問
歯
科



詳しくはホームページで
tsuda-shika.com

つだ歯科 検索

来院予約 専用 ☎ (079) 230-6655

初めての方・学校検診のお子様・定期健診希望の方もお気軽に。

訪問歯科 専用 ☎ (079) 287-9900

当院より16km圏内の通院が困難な方は、訪問歯科をご利用ください。

インプラントのすすめ。

インプラントを考えているけど、いろんな不安やお悩みがあるという方へ。

インプラント相談実施

大阪大学病院との連携! ほぼ眠った状態で手術が可能!

はいしゃさんの保育園

病児保育・一時保育

事前申し込み受付中

詳しくは

079-287-9933 (総務)

へお問い合わせ下さい

マインズグループは
認知症の啓発に取り組んでいます

・労働者派遣事業
・紹介予定派遣事業
・人材紹介事業
地元即戦力人材をインソーシング



マイスタラボ
My Style Labo

自社の魅力を発信「らしさ可視化」
させる求人サイト

HakkeeeeN!!

地域最大級求人情報サイト

M's
Minds

M's

M's HR
M's HR
社会保険労務士法人

ひょうこHC戦略ラボ

「採用戦略」「労務管理戦略」
の研究会

官公庁サービス

【連携自治体】

兵庫県（姫路市・加古川市・明石市・宍粟市等）
厚生労働省（労働局・県内ハローワーク）
近畿経済産業局・中小企業庁・中播磨県民センター等



各種お問い合わせは

株式会社マインズ

<https://minds-z.co.jp>

【本社】

姫路市東延末2丁目24番地 アークビル1F
TEL 079-225-8866 FAX 079-225-8867

【神戸支店】

神戸市中央区浪花町64番 三宮電ビル2F B号
TEL 078-381-6971 FAX 078-381-6972

M'sHR 社会保険労務士法人

<https://mshr-sr.jp>

姫路市東延末2丁目24番地 アークビル2F
TEL 079-280-1340 FAX 079-225-8867

ひろげましょう心と心のおつきあい



HYOGO SHINKIN BANK

兵庫信用金庫

姫路市北条口三丁目27番地

TEL079-282-1255

<http://www.shinkin.co.jp/hyoshin/>

地域一番薬局となり
地域の人々の健康に貢献します

くすりを通して 地域の人々の健康をサポートします

ぼうしや薬局

検索



特定医療法人財団清良会



書写病院
Shosha Hospital

医療 介護 福祉の連携で
皆様のお役に立てる病院です。



機能
強化型
在宅療養
支援病院

〒671-2203 兵庫県姫路市書写台2丁目28番地

TEL.079-266-2525

FAX.079-266-3050

HP:<http://www.mmjp.or.jp/shosha-hp/index.html>



4:30 a.m.

今日も、最高の安全を。



神姫バスグループ

バス事業

神姫グリーンバス株式会社

株式会社ウエスト神姫

神姫ゾーンバス株式会社

神姫観光バス株式会社

タクシー事業

株式会社神姫タクシー姫路

舞子神姫タクシー株式会社

立花神姫タクシー株式会社

神姫タクシー株式会社

生活事業

株式会社エルテオ

神姫産業株式会社

神姫商工株式会社

神姫クリエイティブ株式会社

神姫環境サービス株式会社

株式会社ホープ

しんきエンジェルハート株式会社

レジャー事業

神姫フードサービス株式会社

株式会社神姫トラベル

神姫観光ホールディングス株式会社

神姫バスツアーズ株式会社

その他事業

神姫通送株式会社

株式会社スイム